

特集 失語症者のための会話支援

失語症者のための会話支援	小林久子
失語症者のための意思疎通支援事業とは:これまでの経過	村山太郎
モデル事業1	竹中啓介
モデル事業2	杉浦加奈子
モデル事業3	安保直子
計画と今後の課題	立石雅子

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集名譽顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美	有賀 徹
伊佐地隆	石松隆和
伊藤貴子	岩崎千佳
上蘭紗映	生方克之
逢坂伸子	大越 満
太田秀樹	大武美保子
岡田しげひこ	乙坂佳代
加来克幸	寛 淳夫
加藤武彦	川越雅弘
木下康仁	桑山浩明
小林直樹	齋藤正洋
榊原次郎	座小田孝安
佐藤久夫	鈴木孝治
武原光志	玉垣 努
角町正勝	土井勝幸
野尻晋一	橋本美芽
長谷川幹	半田理恵子
東川悦子	備酒伸彦
廣末ゆか	福田俊江
古屋 聡	丸山 泉
水間正澄	宮崎宏興
宮田昌司	村井千賀
村上重紀	森岡悦子
柳 尚夫	山川百合子
若林秀隆	

●査読委員

稲川利光	梅津祐一
阪井康友	澤 俊二
野崎園子	備酒伸彦
松坂誠應	水間正澄

●編集後記

1998年、各都道府県は地域リハ支援体制の構築を開始。同時に日本リハビリテーション病院協会(当時、澤村誠志会長)は地域リハの普及・啓発活動を行ってきた。そのシステムは各都道府県にリハ協議会を設置して、各都道府県地域リハ支援センターおよび2次医療圏域ごとに地域リハ広域支援センターを指定して市町村におけるリハ支援を行うというものである。結果、全国で44都道府県に本システムは導入され、広域支援センターではリハ職に対して“地域リハ活動に資する人材育成”のための教育・研修を行うとともに、地域における介護予防教室(転倒予防など)等に積極的にリハ職がかかわりを持つようになっていった。ところが、2006年に国からの補助金が無くなったのを契機に徐々に活動停止となり、現在もお存続している都道府県は25に留まっている。

一方、厚生労働省は団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、日常生活圏域「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される」地域包括ケアシステムの構築を方針として提唱し、市町村や都道府県が積極的に推進していくことを求めている。そして新たに整理された介護予防・日常生活支援総合事業の中には地域リハ活動支援事業が導入され、日常生活圏域における介護予防の取り組みとして、地域ケア会議・住民運営の通いの場(サロン等)などへのリハ職の積極的参画が期待されている。

このように、今こそ都道府県レベルでの地域リハ支援体制が骨格として存在することが重要となっている。そして、2次医療圏レベルでの広域支援センターと日本リハビリテーション病院・施設協会が提唱する市町村レベルでの在宅支援リハセンターが強固に連携・協業して地域包括支援センターやかかりつけ医へのリハ支援、支え合う地域づくりなど地域包括ケアシステム構築にリハ職が積極的に寄与できる仕組みが求められる。

日本リハビリテーション病院・施設協会では2016年、地域リハの定義をsocial inclusionを意識して「障害のある子どもや成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動のすべてを言う」と改定した。まさに地域包括ケアと同じ考え方であり、急性期から地域生活に至るまでの幅広い地域リハ活動による自立支援を前提とした自助・互助(互いに支え合う地域づくり)の仕組みづくりを目指すことの重要性を訴えている。今こそ、全国規模での地域リハ支援体制の再構築・進化を期待するものである。

編集委員 栗原正紀

第13巻第1号[通巻142号] 2018年1月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 1月号

1部定価(本体1,800円+税)
2018年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智
(担当: 大島・木次谷)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷網ビル
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com>
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2018, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)
印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005
広告 | (株)メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。